

# 資料



# 通級指導教室と通常の学級との指導の連携に関する調査

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

## 【本調査の目的】

本研究所では、平成 22 年度専門研究 D「発達障害を対象とする通級指導教室と通常の学級との指導の連携の在り方に関する研究」をとおして、通級による指導の効果的な指導の成果をどのように通常の学級に活かしていけるのかを探る研究を行っています。

この調査では、その研究の一環として、発達障害のある児童生徒が通う通級指導教室において行われている指導が、通常の学級での指導・支援にどのように活かされているのか、効果的な指導の連続性や連携のあり方について現状を把握し、課題を明らかにすることを目的としています。

## 【記入方法について】

1. この調査は、学校の特定や個人の情報が使用されることは一切ありません。
2. 記入は、通級指導教室の担当者をお願いいたします。
3. 選択肢に○をつけていただく設問と自由記述していただく設問があります。
4. 記入は、平成 22 年 12 月末現在 をお願いいたします。
5. 回答送付は、平成 23 年 2 月 7 日を目処に、同封しました返信用封筒にてお願いいたします。
6. 電子データにて回答する場合は、お手数ですが、下記アドレスに返信用アドレスをご明記の上、お問い合わせください。こちらから電子データを送付させていただきます。

ご不明の点は、下記までお問い合わせください。

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

発達障害教育情報センター 大城 政之

Tel : 046-839-6932 FAX : 046-839-6938

E-mail : ohshiro@nise.go.jp

## 1. 学校名

都道府県名： \_\_\_\_\_ 記入者： \_\_\_\_\_

学校名： \_\_\_\_\_

教室名： \_\_\_\_\_ 通級指導教室 通級教室設置年度：（平成 \_\_\_\_\_ 年度）

2. 通級指導教室の担当者について

担当教員：(           名)

教員	教職 経験	担当年数	特別支援学校教員 免許の有無	コーディネーター担当	特別支援学校・特別支援学級 経験の有無
例	10年	5年目	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	○	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
A	年	年目	有・無		有・無
B	年	年目	有・無		有・無
C	年	年目	有・無		有・無
D	年	年目	有・無		有・無
E	年	年目	有・無		有・無

- ※ ・担当者が6人以上いる場合は、お手数ですが用紙をコピーしてください。  
 ・担当年数は、通級指導教室の担当年数

3. 通級指導教室担当者として、どのように専門性の向上を図っていますか？

下記の①～⑤で該当する箇所に○をつけてください。(複数回答可)

記入例	
教員	①自治体主催の研修に参加      ②大学院・教育センター等の長期研修 ③学会、民間等の研修に参加      ④特別支援学校教員免許取得(認定講習等) ⑤その他(                              )
A	①自治体主催の研修に参加      ②大学院・教育センター等の長期研修 ③学会、民間等の研修に参加      ④特別支援学校教員免許取得(認定講習等) ⑤その他(                              )
A	①自治体主催の研修に参加      ②大学院・教育センター等の長期研修 ③学会、民間等の研修に参加      ④特別支援学校教員免許取得(認定講習等) ⑤その他(                              )
B	①自治体主催の研修に参加      ②大学院・教育センター等の長期研修 ③学会、民間等の研修に参加      ④特別支援学校教員免許取得(認定講習等) ⑤その他(                              )
B	①自治体主催の研修に参加      ②大学院・教育センター等の長期研修 ③学会、民間等の研修に参加      ④特別支援学校教員免許取得(認定講習等) ⑤その他(                              )
C	①自治体主催の研修に参加      ②大学院・教育センター等の長期研修 ③学会、民間等の研修に参加      ④特別支援学校教員免許取得(認定講習等) ⑤その他(                              )
C	①自治体主催の研修に参加      ②大学院・教育センター等の長期研修 ③学会、民間等の研修に参加      ④特別支援学校教員免許取得(認定講習等) ⑤その他(                              )
D	①自治体主催の研修に参加      ②大学院・教育センター等の長期研修 ③学会、民間等の研修に参加      ④特別支援学校教員免許取得(認定講習等) ⑤その他(                              )
D	①自治体主催の研修に参加      ②大学院・教育センター等の長期研修 ③学会、民間等の研修に参加      ④特別支援学校教員免許取得(認定講習等) ⑤その他(                              )
E	①自治体主催の研修に参加      ②大学院・教育センター等の長期研修 ③学会、民間等の研修に参加      ④特別支援学校教員免許取得(認定講習等) ⑤その他(                              )
E	①自治体主催の研修に参加      ②大学院・教育センター等の長期研修 ③学会、民間等の研修に参加      ④特別支援学校教員免許取得(認定講習等) ⑤その他(                              )

4. 通級児童生徒について

(1) 通級している児童生徒数を分けてご記入ください。

	幼児		小1		小2		小3		小4		小5		小6		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
自校通級															
他校通級															
巡回指導															
計															(人)

	中1		中2		中3		計
	男	女	男	女	男	女	
自校通級							
他校通級							
巡回指導							
計							(人)

(2) 指導にかかる時間数ごとの障害種別通級児童生徒数をご記入ください。

	週8時間程度	週4時間～8時間	週4時間	週1時間～4時間	月1時間～週1時間	月1時間程度	計
LD							
ADHD							
自閉症等							
情緒障害							
上記以外							
合計							(人)

(3) 指導形態についてお聞きします。すべての通級児童生徒についてご記入ください。

	①個別の指導のみ	②個別指導+小集団指導	③小集団指導のみ	※在籍学級での学習支援	計
LD					
ADHD					
自閉症等					
情緒障害					
上記以外					
合計					(人)

※担任とティーチング等をとおして集団の中での学習支援を行っている場合など

(4) 指導形態を選択する理由をご記入ください。

①個別の指導のみ	
②個別指導+小集団指導	
③小集団指導のみ	
※在籍学級での学習支援	

## 5. 教育課程の編成について

(1) 自立活動、教科の補充指導の実施状況についてお聞きします。  
すべての通級児童生徒についてご記入ください。

	①自立活動のみ	②自立活動及び教科の補充指導	③教科の補充指導のみ	計
LD				
ADHD				
自閉症等				
情緒障害				
上記以外				
合計				(人)

(2)通級による指導では、自立活動を主とし、必要に応じて教科の補充指導ができることになって  
います。教科の補充指導を実施する場合の課題は何ですか。下欄にご記入ください。

•

•

(3)実態把握、指導目標の決定、指導内容・方法の選定、指導時間の設定、指導の評価についての  
重要課題順に番号をつけ、具体的な課題をご記入ください。

	順位	課題
①実態把握		• •
②指導目標の決定		• •
③指導内容・方法の選定		• •
④指導時間の設定		• •
⑤指導の評価		• •

上記の中で解決のために工夫されていることがあれば、ご記入ください

•

•

## 6. 個別の指導計画の作成について

(1)通級による指導における個別の指導計画は誰が作成していますか。  
あてはまる番号に○をつけてください。

- ① 通級担当者が作成                      ② 通級担当、通常の学級担任と一緒に作成

(2)児童生徒在籍校（学級）における個別の指導計画は誰が作成していますか。  
あてはまる番号に○をつけてください。

- ① 通級担当、通常の学級担任と一緒に作成  
② 在籍校（学級）が作成  
③ 通級担当が作成

7. 通級の終了について

通級の終了の判断はどのように行っていますか。あてはまる箇所に○でかこんでください。  
(複数回答可)

- ① 在籍校の校長が判断する。
- ② 在籍校の校内委員会で検討し、判断する。
- ③ 学級担任が判断する。
- ④ 終了を判断するための区市町村委員会において判断する。
- ⑤ 担当の指導主事もしくは教育相談担当者が判断する。
- ⑥ 専門家チームや巡回相談員が判断する。
- ⑦ 通級指導教室担当教員が判断する。
- ⑧ 本人もしくは保護者が判断する。
- ⑨ その他( \_\_\_\_\_ )

8. 在籍校、在籍学級との連携

(1) 在籍学校（学級）との情報交換の方法についてお聞きします。  
あてはまる箇所を○でかこんでください。

【自校通級の場合】

連携の内容	実施の有無、内容
① 授業参観（学級訪問）の実施	実施している（ _____ 回／年） ・ 実施していない
② 学級担任の通級指導参観の実施	実施している（ _____ 回／年） ・ 実施していない
③ 連絡ノートを活用	活用している ・ 活用していない
④ 担当者会の実施	実施している（ _____ 回／年） ・ 実施していない
⑤ 指導報告書の作成（指導要録以外）	作成している ・ 作成していない
⑥ その他	

【他校通級の場合】

連携の内容	実施の有無、内容
① 授業参観（学級訪問）の実施	実施している（ _____ 回／年） ・ 実施していない
② 学級担任の通級指導参観の実施	実施している（ _____ 回／年） ・ 実施していない
③ 連絡ノートを活用	活用している ・ 活用していない
④ 担当者会の実施	実施している（ _____ 回／年） ・ 実施していない
⑤ 指導報告書の作成（指導要録以外）	作成している ・ 作成していない
⑥ その他	



(2)在籍校（学級）との具体的な連携についてお聞きします。  
 あてはまる箇所を○でかこんでください。

①校内委員会や事例検討会に参加していますか。	ア している ・ イ していない
②障害理解等についての授業や講話をしていますか。	ア している ・ イ していない
③教材・教具や参考図書等の情報提供をしていますか。	ア している ・ イ していない
④校内研修会等の講師をしていますか。	ア している ・ イ していない
⑤通級児童生徒以外の子どもの教育相談等を行っていますか。	ア している ・ イ していない
⑥その他の連携していること	

(3)通級指導教室で効果をあげた指導を通常の学級へもつないでいくための工夫、方法、内容についてお聞きします。

工夫している点	・ ・
内容・方法	・ ・
抱えている課題	・ ・
解決策	・ ・

9. 地域の小・中学校への支援

(1) 通級児童生徒の在籍校以外の地域の小・中学校への支援を行っていますか。  
あてはまる箇所を○でかこんでください。

ア 行っている      ・      イ 行っていない

(2) 「行っている」場合、どのような支援を行っているかお聞きします。  
あてはまる箇所を○でかこんでください。

①子どもの教育相談等を行っていますか。	ア いる      ・      イ いない
②巡回指導等で直接的な指導を行っていますか。	ア いる      ・      イ いない
③個別の指導計画作成及び評価への支援を行っていますか。	ア いる      ・      イ いない
④校内委員会や事例検討会に参加していますか。	ア いる      ・      イ いない
⑤障害理解等についての授業や講話をしていますか。	ア いる      ・      イ いない
⑥教材・教具や参考図書等の情報提供をしていますか。	ア いる      ・      イ いない
⑦校内研修会等の講師をしていますか。	ア いる      ・      イ いない
⑧その他に連携していること	

10. 最後に、通級による指導の担当者として課題と思うことをご記入ください。

～ ご協力ありがとうございました ～